
記念誌企画検討シート

※未定・不明の事項もおありかと存じますが、企画決定に向けての第一段階として、現時点でのイメージをお知らせください。このまま 072-785-7340（弊社伊丹本社）または 03-6423-2272（弊社東京本部）まで FAX（表・裏とも）いただければ概算御見積書をお送りいたします。

※企画検討に先立ち、最近の記念誌の傾向、制作作業の概要、制作スケジュールのご確認、概算費用のご確認などをご希望の場合は、ご一報いただければ弊社企画担当者をご説明、ご相談に伺いますのでどうぞお気軽にお申し付けください。電話番号は 072-785-7240（弊社伊丹本社）または 03-6423-2271（弊社東京本部）、メールアドレスはどちらも office@bokkasha.com となっております。

■外見面上についての企画

①本の大きさ

本の大きさ（判型といいます）は、記念誌の場合、次の2種類が基本となります。ご希望の大きさに○を付けてください。＜注：従来の主流はB5判でしたが、最近の主流はA4判です。写真を大きく、また数多く掲載できるからです。写真を重視しない場合はB5判が適します。文章本位の場合はA5判が適します＞

1. B5判（257×182mm 週刊誌の大きさ）
2. A4判（210×297mm 電話帳の大きさ）
3. A5判（148×210mm 月刊文藝春秋の大きさ）

②製本方式

製本方式には次の2種類があります。ご希望の方式に○を付けてください。（注：手軽に読まれやすくする場合は並製本が適します。堅牢さと重厚感を求める場合は上製本が適します）

1. 並製本（柔らかい表紙なのでソフトカバーともいう）
2. 上製本（堅い表紙なのでハードカバーともいう）

③箱（ケース）

本を収納する箱（函とも書く）を作ることできます。次の中からお選びください。（注：ボールケースは1個100円以下、貼り箱・透明ケースは1個数百円の製造費です）

1. 不要
2. ボールケース（1枚紙の箱。機械で作るので機械箱ともいう）
3. 貼り箱（1枚紙の上に化粧紙を貼った箱。化粧箱ともいう）
4. 透明ケース（透明なプラスチックのケース）

④ページ数

ページ数は製本の関係で8の倍数の数字とします。80ページ、96ページ、120ページなどとなります。ご希望のページ数をお書きください。

全部で（ ）ページ程度

⑤モノクロとカラーの割合

モノクロページとカラーページの割合をお決めいただきます。(注：カラーページは、モノクロページの1.6倍程度の印刷費<用紙費等込み>となります)

1. すべてモノクロ
2. すべてカラー
3. () ページ程度をカラーに

⑥掲載写真

モノクロ () 点+カラー () 点程度

⑦製作部数

製作部数をお書きください。(注：部数増に関わるコストのほとんどは用紙代<1冊数百円以内>ですので、100部増やしても数万円程度のコストアップにとどまります<貼り箱は別>。なるべく多く作られるのがお得です)

() 部を製作

.....

■内容面についての企画

①内容構成

内容構成要素として取り入れたいものに○をお入れください。

<巻頭ページ>

- () 口絵 (社屋写真など)
- () 代表者挨拶
- () 運営理念等
- () 祝辞
- () 歴代代表者写真
- () 現役員写真
- () 思い出の写真アルバムページ
- () 現況写真
- () その他 ()

